

トビタテ！留学JAPAN

世界の性教育をカナダで調査！

1. 活動時期 2025年7月27日～8月16日

高校1年

2. 利用したエージェント名 なし(個人手配)

石黒 心乃香

3. 活動の概要

私の留学のテーマは「日本で10代への性教育を普及させ、性をより身近に感じてもらうためのヒントを得ること」でした。そのために、トロント大学のPre-Universityサマープログラムに参加し、グローバルシチズンシップコースを受講しました。このコースでは、社会課題を題材にリサーチやディスカッションを行い、情報を整理し発信する力を鍛えました。ここで、社会課題解決のプロセスを学び、その上で世界における性教育の現状を探るために独自でアンケート調査を行い、多様なバックグラウンドを持つ10代から率直な意見を得ることができました。また、大学内にある、性教育に関する情報提供などを行っているセクシャルエデュケーションセンターにも訪問し、スタッフの方からアドバイスをいただきました。

4. 感想

カナダでの探究活動では、施設訪問を通して「性＝ウェルビーイング」であるという確信を得ることができ、さらにアンケートの結果からは、日本の性教育に不足している点を明らかにする手がかりも得られました。この経験を通して、今後は「10代に響く性教育とは何か」を探究テーマとし、より一層熱心に活動に取り組んでいきたいと考えています。

一方で、アンケートの協力をお願いする際には、ひたすら多くの人に声をかけたものの、回答に消極的な方も少なくなく、そのたびに心が挫けそうになりました。それでも、「せっかく奨学金をいただいているのに、ここで諦めるわけにはいかない」と自分を奮い立たせ続け、最終的には約50の方に協力してもらうことができました。その過程で、さまざまな人との出会いにも恵まれ、互いに刺激を与え合う素晴らしい友人たちと出会えたことも、大きな財産となりました。まさに、人生で最も充実した夏休みだったと思います。

また、留学中に最も印象に残っている出来事は、エア・カナダのストライキにより帰国できなくなりかけたことです。最終的には香港経由でどうにか帰国できたものの、香港空港で一人で約10時間待機するという予想外の経験を通して、どんな状況でも冷静に判断し行動することの大切さを学びました。

5. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

何かにチャレンジしてみたい、自分の興味関心を見つけてみたい！という方はぜひトビタテ！留学JAPANに応募してみることをおすすめします。ハードルが高いように思われるかもしれないですが、私自身も当初は探究テーマがすごく曖昧でした。ですが自分で能動的に動き出してみると、気づけば自分がワクワクすることを見つけると思います！書類やプレゼン作成は確かに大変ですが、自分を変える大きなきっかけになると思います。

